# 読むダンス用語集

## 私が勉強してきたこと

## その2 ウィスク

文／神元 誠
イラスト／中村奈々子

私のダンスは地元の公民館で始めたサークル活動とほぼ同時に始まりました。プロの資格を取っていた妻が教え、私は生まれて月日のたたない娘を抱っこしながらレッスンを見て勉強です。私たちの目標は公民館のサークルであっても個人レッスンに負けない内容とレベルにすることでした。では、そのためには何をすべきか。子供を寝かしつけてから夜な夜な夫婦でたくさんの会話をする中で到達した結論は、個人の意識レベルを高めることでした。そこで、サークルの会員に頻繁に「質問はありませんか?」と聞き、分からないことは勉強してから答えるようにしました。また、「壁斜めにウィスクを踊り」というふうに、フィガー名や用語をきちんと入れて説明しました。英語に馴染みの薄い人たちにはそうした用語(主に英語)を覚えるのは大変なことですが、そこを通らずしてレッスンは進みませんから、フィガー名や用語はどんどん使いつつも、意味を繰り返し説明することで馴染んでもらえるようにしました。

さて、ワルツで基本フィガーを教え始めるとすぐにウィスク(Whisk)がでてきます。ウィスクの意味は英語の辞書で引けば片付くことですから、サークルではそのまま説明をしました。

**動詞**:(ハエなどを)さっと払う。さっと動かす。(クリームなどを)泡立てる。

**名詞**:素早い動き。泡立て器。

このウィスクはアレックス・ムーアが考案したという話はちらほら見聞きしてはいましたが、面白いことに彼の著書『Ballroom Dancing』のどこにもそうした話は書いてありませんでした。それからしばらく時が経ち2010年1月、『The Irvine Legacy』(オリバー・ヴェッセル・テルホーン著/左下)を読んでいたとき、目に飛び込んできた話に私は大笑いしてしまいました。こう書いてあったのです。

「ムーア氏は無類のウィスキー好きで、レッスンの前にはいつも1、2杯飲んでいました。そんなあるとき、左足からのクローズド・チェンジを踊ろうとしてよろけ、すかさず左足を右足後ろにかけたのがウィスクの起こりです。ウイスキーのおかげで生まれたこのフィガーの命名には手間をかけず、(ウイスキーのwhiskyから『y』を取って)ウィスクとしました」

フィガーの名前がつけられた背景や、誰が考案したかということは大切なダンスの歴史の一部です。教師用テキストにそうした情報が入っていると、しっかり後世に伝え残すことができますし、前述のような背景が書かれていたら、どれほど楽しく勉強できることでしょう!

さて、最後に女性のウィスクの踊り方についてです。元世界チャンピオンのロレインはこう語っています。

「女性としての私の感覚は、ウィスクの3歩はずっとバックし続け、前進してくる男性のスペースを作っているような感じです。もし女性が、単に男性にくっついて後退していく感じで踊ったとすると、スペースが作られないのでバランスを崩すことになります」

先にさがっていってもダメ、ただくっついて踊ってもダメなんですね。(つづく)

(2009年版/DSI出版。白夜書房から「ビル&ボビー・アービンのダンス・テクニック」として翻訳本が出ています)

### ウィスク(Whisk)【W/F/Q/T/S】

基本フィガーのひとつ。その発展形として、レフト・ウィスク、バック・ウィスク、フォーラウェイ・ウィスクがあり、ラテンではサンバ・ウィスクがあります。ウイスク、ホイスクとも書きます。

**◆ウィスクの考案について調べたことを挙げてみます。**

❶ウィスクの発案と命名者はパット&アレックス・ムーアです。(F.ヘイラー)

❷このフィガーをはじめてフォックストロットで使ったのはアレックス・ムーアで、プロムナード・フェザーに続けました。(K.アクリル)

❸キングストンにあったアレックス・ムーアの学校でレッスンを受けていたカール・ブライアントが1930年代にこのフィガーを創ったとガイ・ハワードが語ってくれました。(L.ウェインライト)

❹「ロンドン、サボイ・ホテルのパーティー会場でのこと。ウェイターがフロアにスープをこぼし、拭き取ったところを左足からのクローズド・チェンジを踊ろうとした男性が2歩目で足を滑らせ、とっさに左足を後ろにクロスしてバランスを保ちました。これがウィスクの始まり。男性は続けて右足からのクローズド・チェンジを踊ろうとしましたが、2歩目でまたまた足が滑ったため、とっさに1歩多くステップしたのがシャッセ・フロム・PPの始まりでした」。このような話を、元世界チャンピオンのヒリヤー氏が話しているビデオを見たことがあります。

❺※本文中に記載。

どれが正しいのか分かりませんが、どれも楽しい話であることは間違いありません。

かんもと まこと●白夜書房から「ビル&ボビー・アービンのダンス・テクニック」「足型図で上達する〜」シリーズなど書籍を複数刊行。
現在は埼玉県内で奥様の久子さんと一緒にダンスサークルの指導を行なっている。